

様式第4号その①（第6条関係）

令和5年 7月 3日

宗像市長 伊豆美沙子様
（宗像市議会議長経由）

議員名 伊達 迅信

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙
のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和4年度政務活動費収支報告書

議員名 伊達 正信

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費		
調査研究費	60,720	60,720
資料作成及び資料購入費		
広報及び広聴費	258,953	203,280
人件費		
事務所費		
合計	319,673	264,000

3 残額

0円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和4年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目											《単位:円》			
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額	
1	3月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				103,180										103,180	82,544
2	6月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				74,140										74,140	59,312
3	12月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				74,140										74,140	59,312
4	視察旅費	調査研究費	60,720													60,720	60,720
5	12月議会報告書表紙配布委託	広報及び広聴費												7,493		7,493	2,112
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
合 計			60,720			251,460								7,493		319,673	264,000

研修開催費		
調査研究費	60,720	60,720
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	258,953	203,280
人件費		
事務所費		
合 計	319,673	264,000

(様式3)

政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	伊達 正信	用 件	① 「世界遺産センター」について ② 「産業遺産情報センター」について ③ 「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置」及び「学校体育館空調含む学校施設整備」について
日 程	1月23日 ~ 1月25日 (3日間)		
用 務 地	① 国会議事堂 ② 産業遺産情報センター ③ 国会議事堂		
交通手段	■公共交通機関 □私用車 □その他		
バック料金	航空券代+ホテル代 (2泊2食)		58,500 円
控除額	朝食代 (@900) × 2		-1,800 円
鉄道賃	東郷 ~ 福岡空港 (往復)		1,660 円
鉄道賃	羽田空港 ~ 永田町		620 円
鉄道賃	永田町 ~ 東銀座		280 円
鉄道賃	東銀座 ~ 若松河田 (往復)		560 円
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町		280 円
鉄道賃	永田町 ~ 羽田空港		620 円
車賃	車走行距離 * _ロ × 37 円		円
合計			60,720 円

※航空券+宿泊代をバック料金として計上

※バックには朝食2回が付いていたので、その食事代を控除する

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。

2023/1/13

宗像市議会 宗像志政クラブ 様

ラド観光株式会社 福岡支店
 観光庁長官登録第一種旅行業第1650号
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24
 博多駅前藤井ビル2階
 TEL (092) 432-1860
 FAX (092) 432-1908
 担当者: XXXXXXXXXX
 携帯: XXXXXXXXXX

□方面	東京
□期間	2023年1月23日(月)～25日(水)
□人員	9名

この度は、見積書提出の機会を賜り厚く御礼申し上げます。
 御見積を下記のように提出致しますので、よろしくお願い申し上げます。

交 通 費	種別	区間	運賃(料金含む)	人員台数	小計	押 観 入 場 料	地名・施設名	料金	人員	小計	
	航空券+宿泊(2泊2朝付)	福岡=羽田(往復)		58,500	9		526,500				
		都内(2泊2朝付)			0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
交 通 費 計(A)					526,500	押 観 入 場 料 計(D)					0
宿 泊 費	月/日()	旅館・ホテル名	条件	料金	人員	小計	そ の 他 費 用	国内旅行傷害保険	500	9	4,500
	1/23(月)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金に含む)	0	9	0		有料道路・駐車場(概算)	0	0	0
						0		添乗員経費(同行しません)	0	0	0
	1/24(火)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金に含む)	0	9	0		乗務員昼食代	0	0	0
						0		取扱手数料	500	9	4,500
宿 泊 費 計(B)					0	そ の 他 費 用 計(E)					9,000
食 事 ・ 弁 当	月/日()	場所・施設名	内容	料金	人員	小計	・上記代金は、見積作成日現在で計算されておりますので、運賃料金改定の場合には変更させて頂く場合がございます。 ・ご参加人数が変更された場合には、代金を改定させて頂く場合がございます。 ・交通費及び乗観・入場料は、2023年 11月 15日現在の運賃料金を基礎としております。				
	1/23(月)～1/25(水)	昼食3回・夕食2回	各自で	0	9	0					
						0					
						0					
						0					
食 事 ・ 弁 当 代 計(C)					0	お一人様旅行代金 (9 名様あたり)		¥59,500			
						ご旅行代金総額 (A+B+C+D+E)		¥535,500			

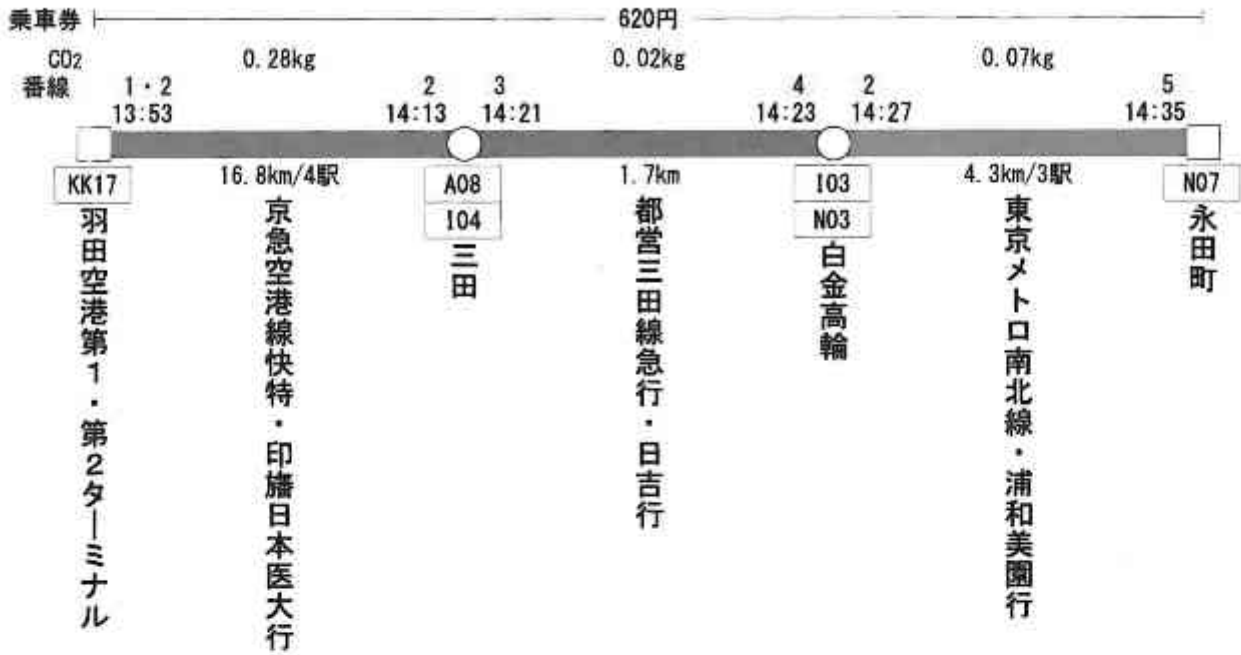
羽田空港第1・第2ターミナル → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2023年 1月23日(月)
所要時間 42分(乗車30分 他12分)
片道金額 620円

乗り換え 2回 距離 22.8km

CO₂排出量 0.38kg (🚗 2.9kg)



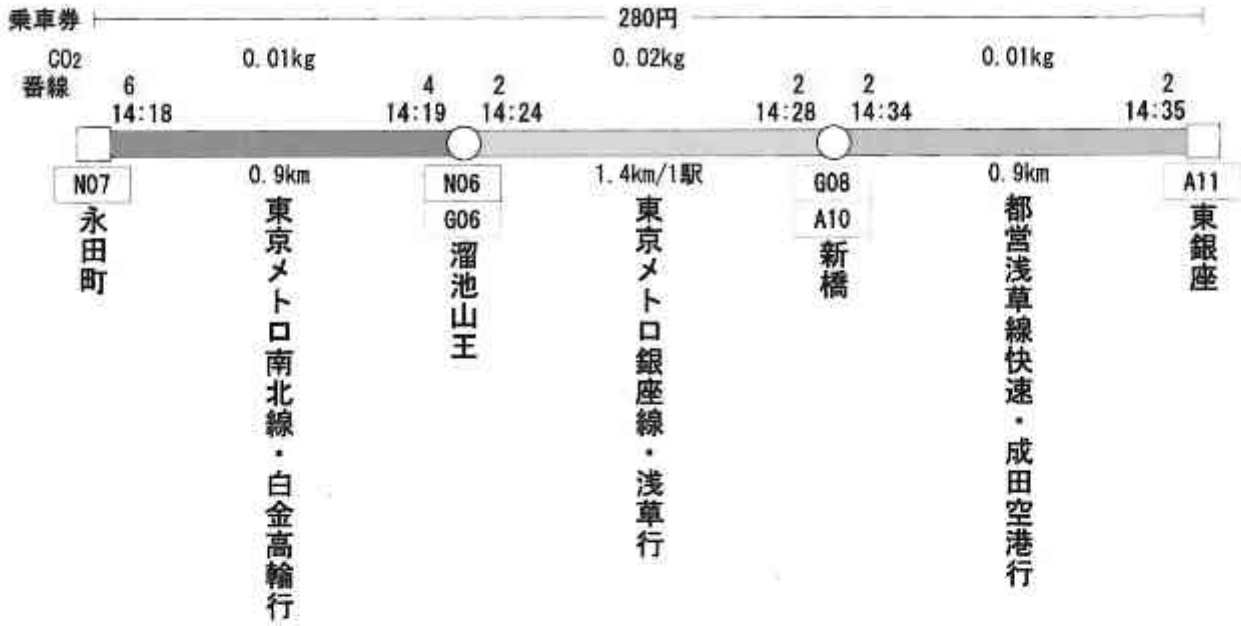
永田町 → 東銀座

探索順 第3/5経路

出発日 2023年 1月23日(月)
所要時間 17分 (乗車6分 他11分)
片道金額 280円

乗り換え 2回 距離 3.2km

CO₂排出量 0.05kg (🚗 0.41kg)



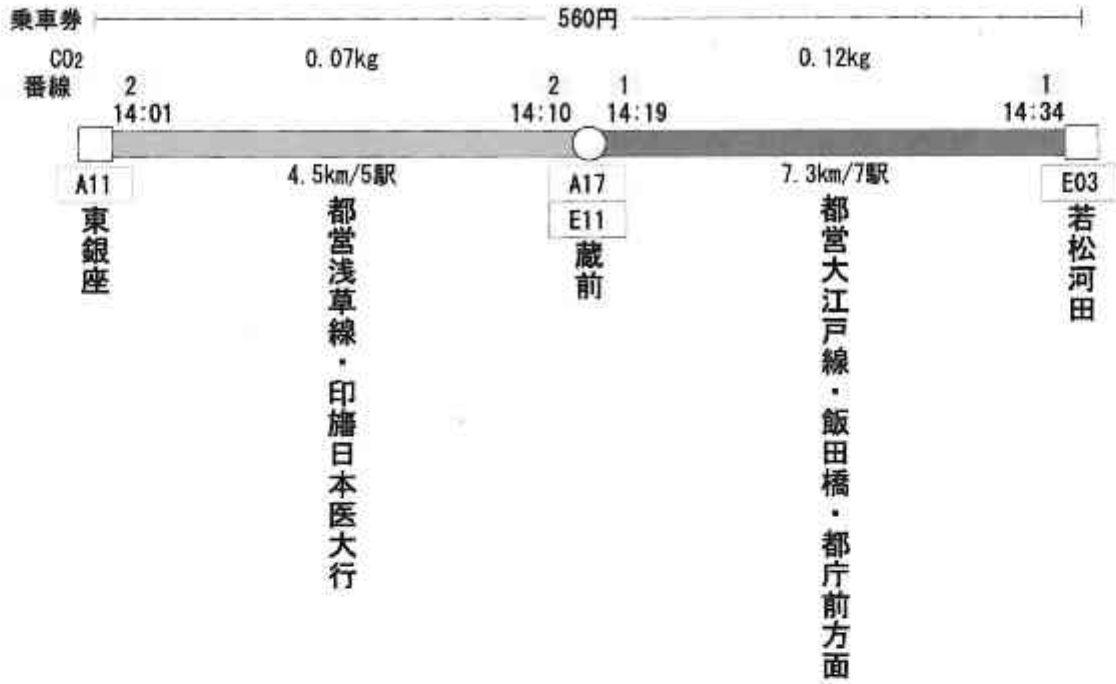
東銀座 → 若松河田

探索順 第1/5経路

出発日 2023年 1月24日(火)
所要時間 33分 (乗車24分 他9分)
往復金額 560円

乗り換え 1回 距離 11.8km

CO₂排出量 0.20kg (🚗 1.5kg)

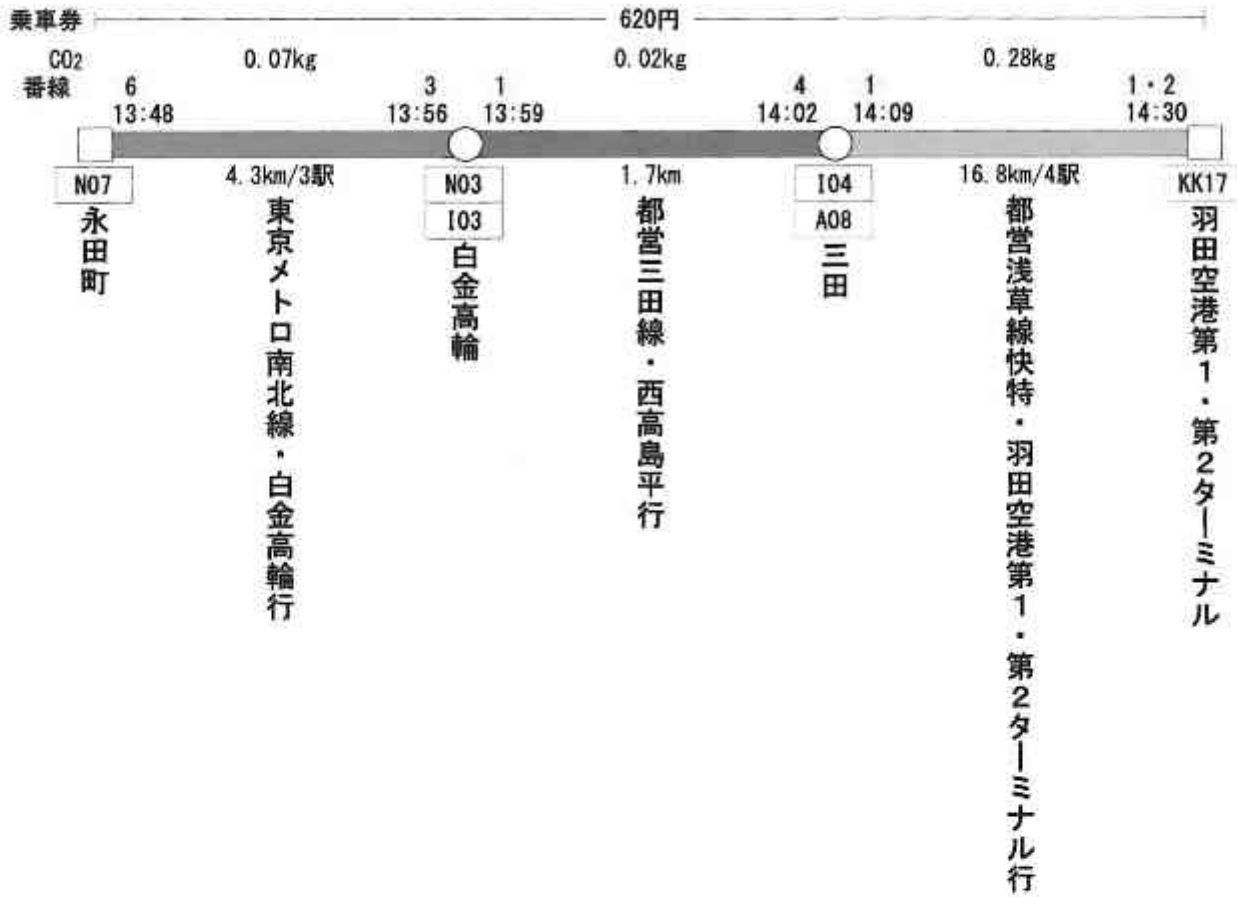


永田町 → 羽田空港第1・第2ターミナル

探索順 第2/5経路

出発日 2023年 1月25日(水)
所要時間 42分(乗車32分 他10分)
片道金額 620円

乗り換え 2回 距離 22.8km
CO₂排出量 0.38kg (🚗 2.9kg)



視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 伊達正信

項目	<input type="checkbox"/> 1研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2調査研究費 <input type="checkbox"/> 3広報及び公聴費		
名称	「世界遺産センター」についての視察		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日程	令和5年 1月23日(月) ~ 令和5年 1月23日(月)		
時間	15:00 ~ 16:00	場所	衆議院第一会館 文部科学委員長室
概要	<p>■文化庁 文化資源活用課 文化遺産国際協力室 世界文化遺産企画室の説明</p> <p>1. 世界遺産センター設置の経緯動向について</p> <p>(1) 既存の博物館等の施設を利用するパターンと世界遺産登録を機に設置するパターンがある</p> <p>(2) 財源について</p> <p>文化庁補助、県や市の単費など様々ある。文化財保護法を根拠とした財源確保策もある。</p> <p>■内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室 内閣府地方創生推進事務局の説明</p> <p>1. 明治日本の産業革命遺産について</p> <p>2. 産業遺産情報センターについて</p> <p>(1) 世界遺産委員会決議の際に構成資産23施設(8県11市)についてのフルヒストリーについて説明戦略に盛り込むことが条件とされ、日本政府としてインフォメーションセンターを設けることを約束した経緯があり設置した。</p> <p>3. 機能について</p> <p>(1) 調査研究機能、様々な情報をデジタル化し調査分析研究を行っている</p> <p>(2) 人材育成機能、マニュアルテキストブックを作成し人材育成を行っている</p> <p>(3) 情報提供機能、蓄積した情報をデジタルツール等も駆使して提供している</p>		
所感	<p>■本市には「海の道むなかた館」があり、既に本市の文化遺産については、様々なツールを用い来訪者に紹介しているところであるため、世界遺産センター新設については、ランニングコストを懸念する声もある。新設された場合、どのような文化財を展示して来訪者にアピールしていくのか、また、世界遺産センターをどのように活かしていこうと考えているのか、市民への丁寧な説明が必要である。</p> <p>■上記記述を踏まえ、「世界遺産センター」新設要望を含むディスカッションの場が必要であると感ずる。</p>		

(様式2)



視察の様子

様式2

	<p>ための育成事業の重要性を感じた。</p> <ul style="list-style-type: none">■質の高い説明は、デジタルサイネージの質の高さが根底にあるのかなとも感じた。本市の関係者にも「産業遺産情報センター」を視察していただき、さらなるデジタルサイネージの質の向上を図っていただきたい。■私どもの訪問のほかには、来訪者がなかったのが少し気になった。広報の重要性を感じた。
--	--

(様式2)



視察の様子(視察後にセンターからの提案で撮影)

様式2

	<p>ケーションの広がりには良き環境づくりに寄与するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">■スクールバスの導入は、従来の児童・生徒の徒歩での登下校のデメリットになるものと考えられるため、バス停の位置設置の工夫も一考の余地があるとする。■「大島学園」のような極小規模な学校は義務教育学校のメリットが最大限に活かされると考えるが、中規模となる小・中学校の統合に関しての「義務教育学校」移行については、先進自治体の視察等による研究が不可欠であり、慎重さを持って対処すべきである。■学校体育館の空調設備設置については、近年の災害等に鑑み、国もその必要性を重視し、現行の1/3補助率から令和5年度より1/2に引き上げる考えを示したことを考えると、本市の全小・中学校の体育館に令和7年度(着工)までに空調設備設置を決断したことは、まさにタイムリーであったと評価する。
--	---

(様式2)



視察の様子(宮内秀樹文部科学委員長同席)

①

領 収 証

伊達正信 様

¥ 103,180-

但し 銀行振込印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 4 年 11 月 15 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

ニシム
福岡県宗像市田熊
 TEL (0940) 36
 FAX (0940) 36



取扱者印

②

領 収 証

伊達正信 様

¥ 74,140-

但し 銀行振込印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 4 年 7 月 29 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

ニシム
福岡県宗像市田熊
 TEL (0940) 36
 FAX (0940) 36



取扱者印

3

領 収 証

伊達 正信 様

〒 74140-
但し 代正信通信世印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 4 年 12 月 27 日

内 容	内 容
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊
ニシム
TEL (0940) 36
FAX (0940) 36

取扱者印

4

領 収 証 No 006882

伊達 正信 殿 令和 5 年 1 月 27 日

¥ 59,500 -

上記の金額は 送付 現金加付 として領収いたしました。
今後本件についてのお問合せは下記の担当者宛にお願い申し上げます。

ウダ観光 社
支店
〒812-0011 福岡市
電話092(441)0866

担当者印

観光庁長官登録旅行業 第1650号

5

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
05-02-07		通帳送金
記号	番号	
*****-		
取扱番号	お取引金額	
NO17	*7,273	
	残高	
	*31,474	
送金料金 *220円		
振込予定日 05-02-07		
タテマサノフ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

— ゆうちょ銀行 —

請 求 書

2023年1月31日締切分

伊達 正信 様

毎度ありがとうございます。
下記の通り御請求申し上げます。

 有限会社 タウン
〒812-0863 福岡市博多区金の
TEL (092)513-93
FAX (092)513-93

今回御請求額(税込)

¥7,273

No.	商品名	日付	数量	単価	金額
1	B4チラン配布料(宗像市・ランダム)	~1/20	1,160	5.7	6,612
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

小 計	6,612
消費税	661
合 計	7,273

お振込みは下記口座へお願い致します



備 考

◎札幌市民生委員児童委員協議会が発行している「児童委員と主任児童委員との連携事例集」に不登校児に関する連携事例がいくつか掲載されていまして、議場でその例の中から、体の弱い母親と女の子二人暮らしの生活保護世帯の話を紹介しました。

小学1～2年生のころいじめが原因で不登校気味となり、5年生ごろからはほとんど登校できなくなっていた。その家庭を地区担当児童委員と二人で訪問したが、当初は受け入れてもらえなかった。そこで、自宅で採れた野菜や女の子が好きそうなDVDを届けたり、手紙を書いたりもした。その後、電話を入れることで都合を母親が合わせてくれるようになった。現在は女の子の希望もあり、少し離れた中学校の特別支援教室（勉強がかなり遅れていたのかなと思います）に通っており、不登校は見られなくなったそうです。話している途中で涙が出そうになり、部長へ感想を求めるのが精一杯でした。

部長の感想

主任児童委員の方が親身になって相談に乗り、子どもが心を開いてくれ、不登校から立ち直ったという大変心打たれる事例だと思います。このように主任児童委員が主体的に関わることはめずらしいと思います。主任児童委員が地区担当の民生委員と連携して家庭状況等を把握し学校側へ提供して、側面から支援するというのが、本来の役割だと認識しています。たぶん宗像市にもそのような方はたくさんおられると思いますが、ご自分のできる範囲で、頑張りすぎず、活動していただきたいと思います。

◎池淵主任児童委員さんも、子育てが分からず、育児放棄状態にあった親子に寄り添い、各種機関と連携しながら周りの人々の協力もありその後、明るく元気に子育てをされるようになったという事例もお持ちのようです。

不登校や虐待問題は、社会総がかりで支援しなくてはいけない時代に入っているような気も致します。

まさのぶ さんぽみち 正信の散歩路

3月10日、赤間小学校の校庭から花火がドドーンと打ちあがりました。極秘でこのことは聞いていたのですが、すっかり忘れていまして、慌てて家内と二人で玄関を飛び出し花火の見える公園まで全力疾走となりました。

6年生の修学旅行が2回延期となり、先生方からもう延期の話は子どもたちに言いにくいと早川校長先生に話があり、花火の提案を校長先生がされたそうでもあります。6年生はその日、海の中道海浜公園へ行き、マリンワールド水族館では、最後に赤間小学校だけでイルカショーを楽しんだそうです。その後赤間小へ7時半ごろ到着し、サプライズの花火大会となりました。子どもたちはその事を知らされていなかったのが大喜び。感激で泣いている子もいたそうです。イルミネーションを宗像青年会議所（中山勝志理事長）が飾り付けてくれたそうですが、その材料は宗像市商工会青年部（井上智統青年部長）の手配によるものだそうです。若者たちの連携が子どもたちにビッグプレゼントとなりました。子どもたちも先生方は一生懸命自分たちのことを考えてくれていると理解していたそうです。コロナ禍の中、知恵を絞れば何かができるのですね。

これはドラマであります。子どもたちは今日の日のことを一生忘れないでしょう。



◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

心豊かに生きるまち、宗像の創造

まさのぶ つうしん

だて正信通信

令和4年3月 vol.37

編集・発行

宗像市議会議員 だて まさのぶ 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

F A X 0940-35-2922

E-mail:ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



皆様こんにちは。この度のロシアによるウクライナ軍事侵攻は、世界の平和と秩序を根底から覆す暴挙であります。宗像市議会では3月議会最終日(25日)に「ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議」を全会一致で採択いたしました。今更ではありますが、民主主義社会の大切さを肝に銘じた次第です。

ひとたび国家の体制が変わると元に戻ることはできないと考えるべきであります。一刻も早く戦争が終結することを祈念申し上げます。

宗像市長選挙が4月17日告示、24日投開票で実施されます。伊豆美沙子市長が2月21日に2期目を目指し、立候補を表明されました。私が代表を務めます会派「宗像志政クラブ」9人は、1期4年の伊豆市長の実績を評価し、固い結束の下、現職支持ということで一致しました。コロナ禍で市民の皆様、事業所の皆様、様々な課題に苦慮なされておられることと、お察し申し上げます。私どもは市民の声を市政に反映すべく、引き続き伊豆市政を支えながら政策提案や、時に厳しい議論等も行っております。

令和4年3月議会報告

一般質問（2月28日）

項目1 民生委員・児童委員制度について

問 民生委員負担軽減のため、福島県南相馬市が実施している「民生委員協力員制度」を検討できないか。

**部長
回答**

個人情報保護などクリアすべき課題はあるが、良い制度であり実施自治体の調査を行いたい。

◎下記図のように民生委員が定員不足しています。南相馬市の制度は民生委員一人の対応が困難な場合に協力していただける方を置くというものです。民生委員というと、どのようなことをするのか不安があり、引き受け手不足に繋がっている面もあるのではないかと思います。この制度を宗像流に改変して、定員不足の地域に限定して、先ず主たる民生委員の補助的な役割とすれば、無理なくお引き受けいただき、その中で活動に慣れていただいでから民生委員へ移行するという方法もあるかなと思います。

民生委員・児童委員の定数及び欠員数

	定数	欠員数 12/1現在
平成22年	154	6
平成25年	160	1
平成28年	161	9
令和元年	165	15

※任期：1期3年

※本年12月1日が改選の時期です。定員不足が、さらに増加するのではないかと心配です。市では改選時の年には通常4月ごろからコミュニティに働きかけられるそうですが、今回はすでに昨年9月に働きかけを行われたそうです。

問

昨年8月の九州豪雨において、長崎では一人暮らしの高齢者から頼まれて家に向かったとみられる民生委員の女性が水害に巻き込まれて亡くなられた。民生委員は民生委員の仕事に誇りを持っておられる。しかしその裏腹に、責任感が強いゆえにこのようなことになったのかなと、非常に心を痛める。そこで災害発生時に民生委員の役割や活動について、本市独自のガイドラインを制定し、民生委員を守る手立てを確保するべきではないか。

**部長
回答**

全国民生委員・児童委員連合会は災害に備える指針を策定している。その指針の中で災害発生時は自分自身と家族の安全確保が最優先と唱えている。市独自のガイドラインはないが、市と協議会で作成している活動の目安Q&Aの中で、自分の身の安全を確保することを明記している。

◎東日本大震災の発生時、要支援者の避難誘導などにあつた民生委員さんが56人亡くなりました。この事態を受け、部長答弁の中にもありましたが、全国民生委員・児童委員連合会は民生委員に身の安全を確保してもらうためのガイドラインを策定しました。私は、民生委員皆さんが自分たちは多くの役割は担えるものではないのだという認識を日頃より共有されることが、無理のない民生委員活動に繋がると思っています。しかし、私の知っている民生委員さんたちの多くが、人格の優れた責任感の強い方々ばかりであります。

※一回目質問の部長回答の中で、民生委員や主任児童委員は地域住民と関係機関とのパイプ役を担っているとのことでしたので、地域包括支援センターとの関係も含めて、少し具体的に答弁をお願いしました。

**部長
回答**

一ついい例を紹介します。新聞受けに新聞がたまっているという通報を受けた民生委員が、地域包括支援センターと連携して警察の応援を受け、家の中で倒れている人を発見し、一命をとりとめたとの事例が宗像でも実際起きています。全ての地域包括支援センターで民生委員さんが一生懸命地域を見守ってくださっているので大変助かっているという話を頂いた。それと、民生委員さんからは、地域包括支援センターができたので、相談がやりやすくなったという声を聞いています。

◎私も民生委員さんの複数の方から地域包括支援センターができて助かっているという話を聞いています。

◎ここで主任児童委員の役割について紹介をさせていただきます。

平成6年より児童福祉に関する取り組みを専門的に担当する児童委員として設置されました。地域の子育て支援活動において重要な役割を担っておられます。「こんにちは赤ちゃん訪問」や乳幼児対象の子育てサロンなどは、新米ママさんたちには心強い味方ですね。

日の里に池淵主任児童委員さんという方がおられますが、長年にわたり主任児童委員として、子育て家庭を見守ってこられた方です。一般質問に当たり、池淵さんにお話を聞いてまいりました。

池淵主任児童委員の話

何よりの喜びは、「子育てサロン」などで出会った子どもたちの成長を間近で見られることです。また、その子どもたちと街中などで会って笑顔で挨拶を交わすたびに嬉しくなるとのことでした。子育てで悩んでおられるご家庭がございましたら、主任児童委員さんへ相談してみてください。あなたの心に寄り添ってくださいますよ。

一般質問通告書

宗像市議会議員 様

宗像市議会議員 (15) 番 伊達 正信

以下のとおり通告します。

発言順	4	受領日時	令和4年1月31日 9時32分
項目1	民生委員・児童委員制度について		
テロップ	民生委員・児童委員制度について		
	地域の福祉を担う身近な存在として、民生委員・児童委員が活動している。近年、少子高齢化が進み、民生委員・児童委員の役割も多様化し、変革の時期を迎えているのではないかと推察する。そこで、地域で活躍される民生委員・児童委員の活動がさらに向上するよう、以下について質問する。 (1) 本市における民生委員・児童委員の現状と課題は。 (2) 本市における主任児童委員の現状と課題は。		
項目2	企業誘致施策について		
テロップ	企業誘致施策について		
	本市は、大小多数の住宅団地とのどかな風景を醸し出す田園が広がる調和の取れた都市として発展してきたが、今後の本市の成長には、雇用の創出や定住化を推進することが必要であり、そのためには産業の発展が欠かせないものとする。今後の企業誘致の市の方向性は。		
項目3	コロナ禍における事業者等の支援施策について		
テロップ	コロナ禍における支援について		
	本市はこれまで新型コロナウイルス感染症拡大により、被害を受けた市民や事業所等へ手厚い支援の手を差し伸べてきた。しかし、被害が表に出にくく、救いの手が届いていない市民や事業者も多数存在するものと思われる。特に被害を受けた事業者等を把握するための調査等の実績はあるか。また、新たな支援策を検討しているか。		

◆航路再編について 私の意見 (市役所とは関係ありません)

航路再編については、審議会での会議が行われましたが、私は当初より審議会はこの航路再編については馴染まないのではないかと考えていました。メンバーには島民の代表の方も入っていましたが、一人でこの重たい事案を背負うことなどできる訳がないと考えていたからです。

令和2年に行政は島民説明会を開催いたしました。現在、このことについて、大島コミュニティ、漁協、観光協会、消防団、PTA、そして漁協の青少年部を交えた話し合いが続けられています。

市としましては島の活性化のため、漁業振興や観光メニューの創設、そして子どもたちの教育を中心とした取り組みを島の方々と協議中です。私は平成27年3月議会の一般質問の中で、文科省の「教育課程特例校制度」を利用して大島小・中学校において、特化した英語教育(外国語活動)を実施できないかと問いました。私は鹿児島県の陸の孤島と言われた山間の里で高校生まで過ごしましたが、埼玉県へ鉄工所の工員として就職したとき、半年ほどは人とのコミュニケーションが全く取れませんでした。大島の子供たちが「15の春」を迎えた時、一つ誰にも負けないスキルを身に付けて本土の高校へ進学すれば気後れしないと思ったからです。当時は残念ながら成就しませんでした。平成30年度に大島小・中学校が義務教育学校となり、これを契機に市では大島学園の英語教育に力を注ぐこととなりました。このことを、上手にPRできれば全国から大島へ移住ということもあると思います。(他の宗像市内からも含めて)

航路再編(二隻体制も含め)は島の方々にとりましては大変重要な問題です。しかし、他の自治体の離島航路の実態に合わせ、国からの指導が市へなされている実情を鑑みると、何らかの方法をもって折り合いがつかないものかと心より願うものであります。

一般質問 項目2：企業誘致について

質問 企業誘致については、支援制度も含め本市の優位性と弱点を把握し、他の自治体との差別化を図るべきではないか。

部長 用地の確保を民間に頼らざるを得ない状況があるため、時間を要すると
回答 ころが弱点であると考え。また、上下水道などの社会インフラに一定程度の限界があることも課題と考える。差別化を図る優位性としては、これまで住宅都市として発展してきた本市は、自然豊かな環境と安心して子育てができる教育環境が整っていることが言えると思う。

◎私は企業誘致と直接関係ないかもしれませんが、職員の方々のモチベーションをさらに高めるということで、大分県九重町が平成18年に完成した、夢大吊橋にかけた物語を紹介しました。当時の人口1万1千人の小さな町が総工費20億円の人道としては日本一の大吊橋。失敗すれば再起不能の町となるでしょう。空を飛ぶ鳥しか見ることのできない「振動の滝」。空から見てみたいよねと夜なべ談義。夢を語る人々。坂本町長は燃えた。議会や町民を説得して完成した「“夢”大吊橋」当初の目標が入場料500円で、年間30万人の来場者数。その目標は1か月もたたない24日目で達成。年間231万人の来場者で町の財政は潤った。私は、首長は自分が先頭に立ち、職員の方々を引っ張っていくというのも、もちろん大切ですが、職員の方が夢を語る夜なべ談義のできる雰囲気づくりも大切と思い、最後に市長へ感想を求めました。

市長も大いに賛同され、これまで職員の方々が情熱を傾けて成し遂げられた事例をいくつか紹介されました。(職員の方を自慢したい気持ちが溢れておられましたですね。(^^)o(^^))

大分県九重町

すべては“夢”から始まった
～九重“夢”大吊橋から
日本一の田舎づくりへ～



だて正信通信

令和4年6月 vol.38

編集・発行

だて まさのぶ

宗像市議会議員 **伊達 正信**

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

F A X 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



7月8日、安倍元総理大臣が凶弾によりご逝去されました。昭恵ご婦人の胸中いかばかりかとお察し申し上げます。今、ロシアのウクライナへの理不尽な軍事侵攻により、民主主義体制の堅持が強く叫ばれている中でのこの事件には、激しい憤りを感じる次第です。心中よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、4月に行われました宗像市長選挙におきまして、現職の伊豆美沙子氏が2期目の当選を果たされました。これまでの実績は申し分ないと評価致すところでございますが、コロナウイルス感染症拡大の中、現職としてはミニ集会や決起大会等も開催するわけにいかなくて、もどかしい選挙戦だったと思います。二期目もコロナ禍の中ではありますが、知恵を絞っていただいて、まちの活性化に取り組んでいただきたいと思います。

私ども最大会派「宗像志政クラブ」といたしましては、市長の市政運営については、しっかりと支援と監視を怠りなく日々邁進してまいります。

問 保育士の負担軽減等のため、ICT化を市は進めてきたが、その内容と効果は。

◎保育協会さんにも事前に感想を各園より出してもらうよう要請していましたが、各園より保育協会さんを通して、たくさん声を頂くことができました。

- 朝の電話対応が減り園児に集中して関わるできるようになった。
- 保護者への一斉連絡機能（既読機能あり）により緊急時に漏れなく伝達できる。
- 業務の効率化及び保育の可視化により、保育の質の効果向上が見られる。
- 業務負担軽減による保育士の定着率の向上が見込まれるため、保育の質の向上に寄与すると考える。……等々。

◎質問の前に保育協会の正副会長さんと懇談させていただいた折、このICT化を大変喜んでおられ、市へ感謝の言葉を述べられました。

問 保育所、幼稚園等において、障がい児の受け入れ態勢はどのようになっているか。

部長回答 発達障がいを含む障がい児の受け入れのための加配職員の人件費を補助しており、87人の子どもが保育園、幼稚園等に通っています。また、入園後も、保育所等の施設だけで問題等を抱え込むことがないように、定期的な巡回相談や療育施設による保育所等訪問支援事業などのサポートを行っています。

◎私は、幼稚園や認定こども園へ出向き、発達障害のお子さんの様子を見させて頂きましたが、加配の先生がマンツウマンで支援しておられました。子どもが加配の先生に大きな信頼を寄せている様子を見て、就学前からの療育の大切さを再確認いたしました。このような園さんの努力があり、小学校へ就学してからの支援がよりスムーズになると思います。これこそ「保幼小連携」ですね！(´▽`)

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

等の行政域が共通しているにも関わらず隣接自治体との地域区分が異なること、このため、周辺自治体との間に保育士の賃金格差が生じており、このことが原因で保育士の確保が困難になっていることなど、宗像市の現状と課題について意見を述べてまいりました。また、具体的な見直し方法として、同じ都市圏の中で隣接している市町村のうち、最も近い自治体の地域区分まで引き上げる、行政域が共通する自治体については、不均衡を防ぐため同一基準を用いる、人口規模も考慮して区分を設定するという具体的な改善策も提案しております。しかしながら、いまだに解消されていないこの不均衡は、本市の保育行政において大きな課題だと考えており、引き続き、国や県に是正を強く要望してまいりたいと考えております。

◎保育所への国からの補助金の中に地域区分というのがあります。公定価格の地域区分は20%～0%の間で8区分に設定されています。最高の20%は東京都、23区です。これは誰でも納得されると思います。福岡県では10%が最高ですが、福岡市と春日市、福津市がその10%です。そして宗像市は0%で福津市とは3段階も差が生じていて、定員150人の保育所では年間約1千万円の差が生じ、それが保育士の賃金に影響を与えています。(月に3万円の差があるともいわれています。)私ども会派、「宗像志政クラブ」では国会議員の宮内代議士を頼ることといたし、今年1月に3人の議員（吉田・安部・井浦）が東京の衆議院会館内の宮内事務所に出向き、宮内代議士に直接要望書を手渡しました。また、宮内代議士の計らいで、人事院や内閣府の方々から地域区分等について勉強会をさせていただきました。今回の6月議会最終本会議（7月20日）に、私が代表提出者となり、全議員で国へ意見書を提出する予定です。

令和4年6月議会報告

一般質問（6月28日）

項目1 持続可能なまちを目指した土地利用について

◎6月議会用の通告書を議会事務局へ提出する2日前に、「文化的、歴史的価値のあるザビエル聖堂を含む『黙想の家』が売却される」と、地元の皆様が心配されているとの情報が私の元に届きました。自由ヶ丘南に隣接したところに自然豊かな森があります。その中にそびえるオレンジ色の屋根が特徴の「ザビエル聖堂」は、フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸してから400年を記念して鹿児島市の地に建てられたものです。年月が経ち、一度は鹿児島市内の別の場所に移転の予定でしたが実現に至らず、聖堂の価値が高いことから名残の現在の所に移築されたそうです。

名残地区では、これまでに事業者が太陽光発電所建設に当たり、事業者との間に様々なトラブルがあったことから、今回の売却問題でも新しい所有者が決まった場合、利用目的が大変気がかりになることとなりました。地元の皆様の要請を受け、早速一般質問に取り入れることと致しました。

問 「黙想の家」のザビエル聖堂は、文化的、歴史的にも非常に価値のある施設であると聞かすが、市はザビエル聖堂の価値をどのように認識しているか。

部長回答 本市に聖堂を移築するに当たっては、約10年という長い時間をかけ、寄付金を募り、福岡県建築士会宗像支部を始め、延べ約4,800人の多くのボランティアの方が関わっており、文化的、歴史的な価値がある施設であると聞いている。

◎この「黙想の家」周辺は約3万坪にも及ぶ広大な森となっています。自由ヶ丘南の自住宅地にも隣接していることから、この森が住宅地化されると地元のみなさんも

安心されるのではないかと思います。また、市にとりましてもメリットがあると思います。



問 黙想の家に良好な住宅地が形成される場合、本市のまちづくりにどのようなメリットがあるかと考えるか。

部長回答 新たに開発された住宅地には子育て世代の方が多く住まれる傾向があります。同世代が多くいる環境での子育てや新たな環境で地域との関係性をつくっていききたいというニーズを持った方が多くいるとの声を聞いているところでございます。このように、新たな住宅地が開発、形成されることで、子育て世代の入居が進むなど、地域が活性していくものと考えています。

問 文化的、歴史的価値のあるザビエル聖堂を含む、「黙想の家」が売却される予定であるが、売却された場合、新しい所有者と地域、行政が一緒になったまちづくりに取り組んでいただきたいと考えるが、市の考えは。

部長回答 官民連携は本市の同地再生を推進する重要な要素である。市としましても跡地利用について、良好な住宅地や周辺住民の生活利便性が向上する

スーパーなどの商業施設や医療施設等の都市機能を強化するような官民連携の事業を進めて行きたい。また、黙想の家の跡地は、名残地区や自由ヶ丘地区、自由ヶ丘南地区の皆さんからも利活用が熱望されている。地域の希望が実現できるように、現在の所有者である宗教法人や新たな所有者に対して積極的に働きかけていきたいと考えています。

◎今回の質問に当たり、私は教会の司祭様や地元名残区の皆さんと話をさせていただきました。その中で、名残区の皆様のふるさとへの強い思いを感じることができました。司祭様も売却が決まったら自然環境への配慮等強く申し上げると言っていました。また、ザビエル聖堂の移設、修復に当たり、多くの方々関わった文化継承への熱い思いも知ることができました。それからそれらを全て受け止め、しっかりと市民に寄り添い支えて行くんだという行政職の皆さんの強い意志も感じることができました。官民共同で創る宗像、皆様の思いをのせて、良き方向へ行くよう強く祈念申し上げます。

項目2 就学前の子育て支援施策について

問 これまでも何度か議会で取り上げてきたが、保育士の賃金に関わる国からの補助金である地域区分は、本市は、最低の0%である。保育士不足の中、近隣市との差が大きく、本市の保育所の職員処遇の改善は急務と考える。市から国に対して是正を強く要望する必要があると考えるがどうか。

市長回答 令和2年度に、地域区分の見直しに先立ち実施された内閣府の調査において、福岡都市圏の中で唯一0%のその他地域であること、警察署、消防署、保健福祉環境事務所、県土整備事務所

◆教育委員会では、ひきこもり傾向にある不登校児童生徒支援のため、「正助ふるさと村」に「子どもの自立サポートセンター」を来年度より開設する予定のため、本年度より準備に取り掛かります。

6月議会の井浦議員の一般質問の中で高宮教育長の言われた言葉が印象的でしたので、ご紹介します。(長きにわたる答弁の中の一部を継ぎ足したものです。)

■自然豊かなところで心身の回復を図りながら、農業体験を中心とした活動を行い、自立へ向かおうとする気持ちや生活習慣の確立、悩みの解決等の支援を行う。(園芸療法) 農業体験には、コミュニケーションを始め、様々な活動があります。自分の進むべき道をじっくりと考え、模索できるのではないかと考えています。

引きこもっている子どもの中には、ここ何年間か1度も学校に来ていない子どももいるのではないかと思います。それでも、その子の1番近くにいるのは、私は、身内以外では学校であり、担任の先生ではないかと、そのように思っています。その子と保護者とのつながりを持つことが必要だと考えます。たとえ1度も登校していない子どもでも、担任の先生から見ると、自分が受け持つ学級の一人です。その子も登校して、みんなとともに学校生活を送り、共有する時間を持ってもらいたいという強い気持ちは持つてあると思っています。学級の一人として大切な一人だと思っているはずです。先ずはそのことを、子どもと保護者に伝える必要があるだろうと思っています。子どもには、あなたはかけがえのない一人だという気持ちを送り続けることだろうと思います。

初めは、子どもや保護者に直接会ってお話しすることもできないかもしれないと思います。先ほど部長が申しましたように、電話とか、メールとか、手紙とか、来てもらっての面談とかいうようなあらゆる方法でつながりを持つことから始めることになるだろうと思っています。私は、おっしゃったように焦らず、慌てず、諦めず、じっくりと時間をかけてつながりをつくっていく必要があると思っています。

同様に、子どもの自立サポートセンターでの活動計画等がある面ではその子に決めさせて、実施していくということから始まって良いのではないかと考えています。子どもやその保護者の気持ちに寄り添って支援をする「子どもの自立サポートセンター」にしたいと思っています。

◎昨年の出生人口は81万人でした。団塊の世代の3分の1以下です。そのような中、引きこもり問題、親の子どもへの虐待、そして無くならないいじめ。この先、日本はどうなるのでしょうか。

そのような中、教育長の答弁を聞きながら、諦めない人たちがいる。自分も自分らしく頑張らねばと思った次第です。

予算第1特別委員会

◆物価高に対する救済の一環として学校や保育所等における給食の食材費高騰分を補助します。5千百58万6千円

予算第2特別委員会

◆宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）3億2千7百30万円
コロナ禍の中、政府は市民生活に直結する下水道使用料を減免するとしました。令和4年10月～12月の3か月間、使用料を減免します。（30㎡以内使用の家庭は無料）30㎡以上使用の家庭は4,967円×3か月間経済支援
殆どの家庭は、30㎡以内と思われます。し尿及び浄化槽についても同等の支援。

ませのぶ さんぽみち 正信の散歩路

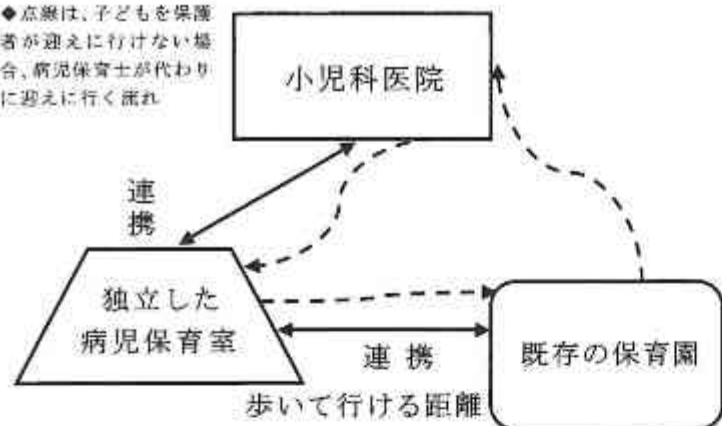
赤間小学校の信号機の所で「朝の交通誘導」をさせていただいていますが、4年4組の子どもたちから、たくさんの手紙を頂きました。先ず、ビックリしたのが、どの子どもも大変文字がきれいで上手でした。私は大変な悪筆ですのでお礼の手紙にパソコンを使ってしまいました。猛反省です。

書かれている内容は、季語として梅雨のことが書いてあり、見守り隊へのお礼でありました。中には「木々の緑が濃くなる時期となりました」という書き出しもあり、自分が4年生のころ、このような手紙は書けなかっただろうなど、頭をかいた次第です。手紙を書く勉強があり、見守り隊の皆さんへも書いてくれたようです。

朝の交通誘導をしていますと、毎朝いろんなことがあります。必ず私の前を通るとき、いつもありがとうございます。と声をかけてくれる女の子がいますが、7月初めから、もう一人の女の子も同様の声をかけてくれるようになりました。基本的な生活習慣の中で、挨拶はとても大事です。朝起きたら、先ず、「お早うございます」ですね。

それから、一番うれしいことは、新入生が成長していく姿です。いつもお父さんと泣き別れしていたお嬢さんも、今ではそんなことがあったのかなと思うくらい成長しました。物思いにふけり、しばし立ち止まっていたお子さんも元気に校門へ向かっていきます。いろんな子どもたちで信号機の所はにぎやかです。お子さんの心に寄り添って、深い愛情たっぷりをお願いしたいと思います。「立派な挨拶ができたね、えらいよ」できるだけ、誉め言葉をかけるように心がけています。暑い日が続きます。お子様には帽子を、お願いいたします。

◆点検は、子どもを保護者が迎えに行けない場合、病児保育士が代わりに迎えに行く流れ



◆熱を出したお子さんに対し、保育園や小学校等から保護者に連絡が入ります。しかし、すぐに駆け付けてやれない場合も想定できます。事前の取り決めが必要ですが、病児保育室の保育士が園や小学校へ駆けつけ、お子さんを小児科に連れて行き診察してもらいます。その後、保護者が夕方等迎えに来られるまで、病児保育施設にて預かります。(独立型病児保育施設)

◆◎私は以前より、就学前の障害を持つ子どもたちを総合的に支援する施設の設立を夢に描いていました。令和5年度政府は、国や社会の形を「こどもまんなか」へと変えていく司令塔として、「こども家庭庁」という新しい組織を作ります。

その中で、虐待問題や障がい児の支援施策をかなり踏み込んだ形で行うようです。そういうこともあり、私の夢の施設を執行部に紹介しました。小学校に就学しますと「特別支援学級」等があり、専門家の先生が付きます。ところが、就学前では、幼稚園、保育園等に空きがないと就園できないことも考えられます。また、知的障がい児ともなりますと、園の加配の先生にもかなりの負担が増します。私の夢の施設は、「小児科と保育園」が一体となった施設です。多くの身体障がい者や発達障がい者等を受け入れ、健常児とのインクルーシブな保育をするものです。幼児期には弱者に寄り添い助けようとする自然発生的な心が生まれます。また、そこには専門の先生

が常駐しますので、加配の先生も相談しながら取り組めます。今の時点では、なかなか理解は叶わないようでした。しかし、「こども家庭庁」、打ってくる手にひそかな期待をしているところです。

◎10月9日に赤間地区コミュニティ運営協議会と市側で、まちづくり懇談会がありました。その中で学童保育所の休所日の取り扱いについて熱い議論が交わされました。現在、年末年始の休みが学童保育所では12月30日から1月3日までとなっています。市役所や保育所等は29日はお休みです。学童保育所も29日を休所として欲しいとの要望です。

問 学童保育所の冬季休所は12月30日からとなっている。指導員の人手不足等に鑑み、働き方改革として29日を休所とできないか。

部長回答 今年については、家庭保育の協力を保護者に依頼して、その結果、登所者数の調査を行った上で、その後の対応について検討する。

◎市役所も保育園も29日が休みにもかかわらず、市は、平成25年に突然条例を改正して学童保育所だけ29日を開所としました。(サービス向上)赤間地区コミュニティ運営協議会の秋吉副会長が福岡県の全60自治体の学童保育所の開所日について調査されました。大変な作業だったと感服いたしました。その中で令和4年度29日開所は、直方市と宗像市だけです。直方市は盆休みがありますが、宗像市はありません。休所日に限って申しますと、県下で最悪の労働条件とも言えそうです。私は、学童保育所だけが開所となったのは納得がいかないので、当時の検証が必要ときびしく申しました。

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

心豊かに生きるまち、宗像の創造

まさのぶ つうしん

だて正信通信

令和4年12月 vol.39

編集・発行

だて まさのぶ
宗像市議会議員 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

FAX 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



皆様こんにちは。昨年11月に旧統一協会及び関連団体と関りがあった議員の氏名が市ホームページ(申告制)に掲載されました。私は昨年7月2日に関連団体の大会に出席致しましたので、包み隠さず詳細を議会事務局へ報告致しました。議員には説明責任があると思い、市HP掲載後、すぐに私の後援会会長を始め、各機関へ経緯説明文をお渡しいたしました。

市民の皆様には、遅くなりましたが今回の議会報告書「だて正信通信」に詳細を記載いたしておりますので、ご一読下されば幸いです。

ご心配やご不信をお与えいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

◆議員は新年のあいさつは掲載できないことになっています。ご了承くださいませ。

令和4年12月議会報告

一般質問（11月28日）

項目1 犬のふん害について

◎赤間西地区の方から旧3号線、三郎丸の歩道に犬の糞が頻繁に放置されていて、相談をしてもどこも受け合ってもらえないと強い抗議のメールが届きました。その中に「イエローチョーク作戦」というのが効果的のようですとのことが書かれてありました。赤間西地区コミュニティ運営協議会の事務局長さんに「イエローチョーク作戦」の事を一般質問で取り上げますと申しましたところ、大谷自治会が、すでに実施しており、効果を上げているようですとのことでした。早速自治会長さんにお話を伺いに行きましたところ、親切に対応して下さい、大谷地域を車で巡回して下さいました。犬の糞どころかポイ捨てごみも全くなくきれいな地域でした。この大谷地区は防犯見回りもしておられ、なんと幼稚園の女の子も1年以上パトロールと一緒にしているとのことでした。大谷地区の方々、自分たちの住んでいるところは自分たちで良くして行こうという気持ちが醸成されている地域なんだなあと感じた次第です。

「イエローチョーク作戦」は、うんちを見つけた人は、その周りに黄色いチョークで円を書きます。発見日時を書いて、後日その場所を確認します。うんちが残っていれば、その日付を再度書きます。無くなっていけば「なし」と日付を書きます。それだけで効き目抜群だそうです。

問 犬のフン害防止策として、大谷自治会が取り組む「イエローチョーク作戦」と赤間地区が取り組む「フン害防止の犬の看板作成」を広報誌等に掲載して頂き、犬のフン害の無いきれいな宗像にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

部長回答 地域の地道な取り組みに心から感謝を申し上げます。効果が出ているという話もありましたので、ぜひ参考にさせていただき、今後の取組に生かしていきたいと考えております。

項目2 子どもの健やかな成長を願って

◎不登校問題について、不登校の子どもの事情に合わせて特別なカリキュラムの組める「不登校特例校」を城山中敷地内に誘致できないかと思い、執行部へ紹介しました。この特例校は担任教師は生徒側で選べるとか、その日の時間割は教師と生徒が相談しながら一緒に決めるとか、一週間のうち登校できる日を生徒側で決めるとか幅広い選択肢ができるのが特徴です。不登校特例校、岐阜市立草薙中学校では、40人募集の所3倍強の130人の応募があったそうです。当人や保護者の苦悩が取って見えるようです。市内に「不登校を考えるかたつむりの会」というのがあります。私も時々参加させていただいています。その会でお母さんの言われたことを質問しました。（了解を得て質問しました。）

問 ひきこもりの子どもたちがどのような学校（または、子どもの自立サポートセンター）であれば行きたいと思うのか、子どもたちにアンケート調査を実施したらどうか。

教育子ども部長回答 子どもの心理的負担を考慮して県が行っているが、必ず提出して下さいというものではないので、現状では難しい。

子どもグローバル人材育成担当部長回答 サポートセンターについては、不登校の支援をしておられる団体もいらっしゃると思いますので協力を得ながら、検討してまいりたいと考えます。

問 病児保育室が需要に追い付いていない。新しい単独の病児保育室が作れないか。

部長回答 本市の病児・病後児保育における課題を少しずつクリアにしながら、子育て世代が、より子育てしやすい環境づくりに努めたいと考えています。

◎令和3年度は、片山医院の「病児保育室めぼえ」が年間延べ人数808人とかなりオーバーワークとなりました。コロナ禍の中、熱を出した子どもたちがやってまいります。医療機関として子どもたちを助けたいという使命感の表れだと思います。また、「めぼえ」も共働き世帯やひとり親世帯の支援という目的を果たしています。部長の答弁の中で、受け入れを断る事例が発生しているため、令和5年度は市外の病児保育施設を利用したいとの発言がありました。福津市では、医療機関併設型の病児保育室2か所に加え、保育園と併設した病児保育室を持つ「企業主導型保育園」が4か所も誕生しています。私は、図のような単独の病児保育室の設立を提案しました。（併設型では設立にハードルが高い）福津市の若き経営者と、このことについて議論しましたが、十分採算に乗ると力強い発言もありました。将来を見据え、やる気ある若者たちに久しぶりに興奮した次第です。



企業主導型保育園「ふくつライオン保育園」
2階部分は病児保育室

「宗像市議会議員と旧統一教会及び関連団体」との関りに関する市議会議員
アンケート調査について（自己申告）

宗像市議会議員
伊達正信

安倍元首相の暗殺事件以来、旧統一教会の関連団体と政治家の関わりについて国会等で問題視されました。宗像市議会でもこのことについてアンケート調査が行われました。私は関連団体の主催する大会に出席したことがありますので、議員として説明責任を感じ、今回時系列に市民の皆様にご説明いたします。

私のスケジュール表によりますと、令和4年1月下旬ごろだったと思いますが、市内在住の女性（知らない方です）から電話がありまして、私の議会報告書「だて正信通信」を読んで、伊達議員は家庭問題に熱心に取り組んでおられる議員ですので、一度お会いして私の話を聞かせて欲しいとのことでした。先方も家庭に関する活動をしている会とのことでした。このような電話やメールは個人・団体共に頻繁にあります。市民に寄り添う議員が私の議員としてのスタンスですので、全ての問い合わせに対応しています。

2月2日だったと思うのですが、3人の方にお会いしました。二人の方は市外の方で一人は男性でした。その時は私の方から日頃の活動や夢を一方的に話しました。男性の方から名刺を頂きましたが、今回、このようなことになりましたので、あらためて名刺を見ますと、「真の家庭運動推進協議会」と書かれてありました。（後日知りえた関連団体23団体の一つ）2回目にお会いしたときに、私の活動をお褒めになり今度大会がありますので是非「平和大使」に任命したいとの話がありました。「平和大使」について知識がなかったこともあり、2回しかお会いしていないのを理由にお断りしましたが、大会（令和4年7月2日）出席だけでもお願いしたいとのことでした。市内の女性の顔を立てるという感じで了承致しました。

その時渡された大会リーフレットを見ますと、会長を含め、副会長、理事、顧問、総数12名（共同会長と事務局除く）に、実名でそうそうたる肩書（教育関係者・大企業関係者・議員等）が書かれてありました。正直、すごい大会なのだなという印象でした。（推測ですが、会の実態を知らないまま、名前を貸されただけの方もおられたと思います。）

その後、7月8日に安倍元総理が銃弾により、ご逝去なされましたが、数日して、最初に電話いただいた女性から今回の事件で伊達議員に迷惑が掛っているのではないかとの電話がありました。私は驚いて、「何か関係があるのですか」と申しましたところ、「上は繋がっています」という返事でした。

すぐに謝罪の言葉を申された後、会って謝罪したいとのお話を言われました。今まで入会の案内とか、寄付金の事とかも一切聞いていませんでしたので、私は何も被害は受けていませんので謝られる必要はないですよと申しましたが、お会いして謝罪したいと強く申されたので7月14日に二人で会いました。丁寧な謝罪の言葉があったように記憶いたしています。しかし、悪い人にはどうしても思えませんでしたので、気にしないで下さいと言ったことを、記憶いたしています。

その時点で会との関係は終わりましたが、悲しいことではありますが、議員という立場を

考えますと、慎重さをもって接しなければいけないと反省した次第です。市民の皆様におかれましては、不信を抱かれた方もおられたことと思います。心よりお詫び申し上げます。

今更ではありますが、何の疑念も持たれずに私の身を案じ、お声かけ下さった方もおられました。窮地に陥ったとき、人の情けが身に染みるものでございます。

なお、アンケート調査の回答は、私の提出した文章の切り取りでしたので、説明文として不足していると感じ、あらためて説明申し上げた次第です。

総務常任委員会

第80号議案 機構改変に伴う関係条例の整備に関する条例について

◎4月に市長選挙があり、二期目の伊豆市政が誕生しました。市長の想いにより大幅な機構改変がありました。その中で、教育委員会の「子どもグローバル人材育成担当部署」が独立して「子ども子育て部」となりました。また、「市民協働環境部」にあった、社会教育に関する「生涯学習」も「教育部」の「教育政策課」に移り、本市が進める「コミュニティスクール」の中で、社会総がかりで子どもに関わり育てるという基本理念に合致し、また、令和5年度から始まる国の「子ども家庭庁」設立の目的でもある、社会のかたちを「こどもまんなか」へと変えていく施策にもつながるものと期待するところです。

予算第1特別委員会

◆福祉施設等物価高騰支援

◎コロナ禍の中、政府は医療機関のひっ迫等に鑑み、財政支援等行ってまいりましたが、介護施設や障害福祉施設等へは十分な支援が行き届いていないと感じていましたので、子どもの会派「宗像志政クラブ」は、宮内事務所のお知恵も拝借しながら、12月議会に間に合うよう、介護施設等への支援の要望書を市長へ提出いたしました。

介護施設は介護を必要とする方々の生活施設であります。今回のコロナウイルス感染症患者の急拡大は、本来医療を施す施設ではない介護施設で、り患者を看るという異常な状態の中、使い捨ての防護服等にも支障をきたす状態であったと聞きます。

また、介護を要する方々のコロナウイルス感染は命に直接関わります。日々の暮らしの中、絶対に自分が感染するわけにはいかないという責任感を持ち従事する介護士を始め、職員の方々の精神的苦痛と長時間に及んだ激務は想像を超える状況であったと推測いたします。

国の支援が少し遅かった気も致しますが、今回の国からの補助金を利用して今まで行き届かなかった施設への支援に対し、市長の決断に感謝いたします。

◆出産・子育て応援交付金

国の事業です。妊娠期から出産・子育てまで一貫して、市が家庭に寄り添い（伴奏型相談支援）そして、経済的支援（妊娠届け出時5万円・出生届け出時5万円）も行うものです。